

教育委員会定例会会議録

令和5年1月19日（木）

教育委員会定例会会議録

令和5年1月19日午後3時00分教育長竹内清が教育委員会定例会を茅ヶ崎市役所分庁舎5階特別会議室に招集した。

1 会議出席委員は、次のとおり。

教育長 竹内 清 委 員 赤坂雅裕 委 員 中馬智子
委 員 伊藤甲之介 委 員 大森美保子

2 会議出席事務局職員は、次のとおり。

教育総務部長 中山早恵子	教育推進部長 白鳥慶記
教育指導担当部長 青柳和富	教育総務課長 島津 順
教育施設課長 高橋 修	学務課長 藤木徹也
教職員担当課長 南雲 務	社会教育課長 瀧田美穂
青少年課長 関山知子	学校教育指導課長 力石裕司
図書館長 松岡俊子	教育センター所長 日高恭子
小和田公民館担当課長兼館長 浅井志子	鶴嶺公民館担当課長兼館長 三井優子
松林公民館担当課長兼館長 菊池 修	南湖公民館担当課長兼館長 生川彰博
香川公民館担当課長兼館長 鈴木 朗	体験学習センター担当課長兼所長 松下晃久
博物館担当課長兼館長 須藤 格	

3 会議の大要は、次のとおり。

午後3時00分開会

○竹内教育長 それでは、ただいまから1月定例会を開催いたします。

日程第1 教委議案第1号茅ヶ崎公園体験学習センターうみかぜテラスにおける指定管理者制度の導入についてを議題といたします。

担当事務局、説明をお願いいたします。

○体験学習センター担当課長兼所長 日程第1 教委議案第1号につきまして、体験学習センター所長よりご説明いたします。

本件は、現在、教育推進部青少年課の直営で管理運営している体験学習センターの指定管理者制度導入についてご審議いただくものでございます。

議案書は2ページをご覧ください。1につきまして、体験学習センターは旧福祉会館、

旧海岸青少年会館の複合施設として位置づけられておりますが、平成30年2月に策定した（仮称）茅ヶ崎公園体験学習施設の管理運営の基本的な考え方により所管課を一元化し、当面の間、直営とすることで、平成31年1月に開館いたしました。

2につきまして、開館以来、職員が施設の特徴や地理的メリットを踏まえ、市民の評価の高い自主事業を展開してまいりました。また、日常業務の中で直接利用団体と意見を交わすことのできる直営の利点を生かし、施設の利用団体とのネットワークを構築し、団体と連携した取組に成果を上げてまいりました。

3につきまして、コロナ禍においても、2に掲げる取組により成果を上げてまいりましたが、丸印に示すとおり、利用者対応、施設の維持管理や修繕、職員の主たる役割といった点において課題が明らかになってきております。いずれも専門性を持った職員が当該業務に専念できる体制が理想ですが、職員が事務作業を行いながら兼務的に施設運営に携わる現状ではサービスの向上にはつながりにくいことから、指定管理者制度の導入を考えるタイミングであると判断いたしました。

3ページの4につきまして、資料に示す市の方針、計画等においても民間活力の活用が示されており、体験学習センターの指定管理化もこの方向性に沿ったものとなります。

5につきまして、昨年7月の教育委員会定例会でもご報告いたしましたとおり、計画段階で民間事業者の意見等を伺うため、9月から10月にかけてサウンディング型市場調査を実施いたしました。サウンディングの結果、申込みのあった10社中9社が指定管理者制度成立の可能性が「高い」、「やや高い」と回答したこと、10社中8社が本事業への参画意向を示したこと等から、指定管理制度を導入し、市民サービスのさらなる向上を図ることは十分に可能であると判断いたしました。

6につきまして、サウンディング調査を踏まえ、人員体制と収支の状況を精査いたしました。人員体制につきましては、施設管理の特性上、安全面の配慮が不可欠であることから、現在と同等の人数が必要となります。経費につきまして、管理運営経費に含まれる施設の維持管理、点検費用等の大幅な削減は難しく、また、パソコンのリース料等新たな費用が発生するものの、実現性の高い使用料収入を見込むことで、職員給与を含む令和4年度予算の範囲内で運営することが可能と整理いたしました。

4ページの7につきまして、施設独自に実施しているアンケートから、民間事業者による運営に関する設問の回答をまとめております。令和4年度は、市の運営がよいとする回答が多数を占めておりますが、選択理由を詳しく見ると、施設としては利用者が誰が管理

するかよりも、どのように管理するかに着目していると分析しております。

5 ページの 8 につきまして、開館以来、施設の初期目的の達成を目指し、職員が様々な取組を行っておりますが、施設の持つポテンシャルを十分に引き出すには民間事業者の専門性を活用することの効果は大きいと考えます。したがって、施設の管理運営について指定管理者制度を導入すること、その導入時期は令和 6 年 4 月からとすること、利用団体には説明等の場を設け周知を図ること、指定管理化を踏まえ体験学習センターの所管課を再検討することといたします。

9 につきまして、本件は、教育委員会定例会のほか、資料記載の会議で順次ご審議をいただいております。利用者の皆様に周知を図りながら、令和 5 年度に選定に係る手続きを行い、令和 6 年 4 月 1 日からの指定管理開始を想定しております。

説明は以上でございます。よろしくご審議のほどお願いいたします。

○竹内教育長 説明が終わりました。ご意見、ご質問等がございましたらお願いいたします。よろしいですか。

特にご意見等がなければ、日程第 1 教委議案第 1 号茅ヶ崎公園体験学習センターうみかぜテラスにおける指定管理者制度の導入については原案のとおり決定することでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○竹内教育長 それでは、原案のとおり決めます。

次に、日程第 2 教委議案第 2 号第 3 次茅ヶ崎市子ども読書活動推進計画のパブリックコメント実施についてを議題といたします。

担当事務局、説明をお願いいたします。

○図書館長 日程第 2 教委議案第 2 号第 3 次茅ヶ崎市子ども読書活動推進計画のパブリックコメント実施についてにつきまして、議案書 6 ページから 39 ページとなっております。

この計画は、平成 28 年 4 月に第 2 次茅ヶ崎市子ども読書活動推進計画を策定し、令和 2 年までの計画を 2 年間延期したことに伴い、令和 4 年度が終期となることから、現行計画を継続的に実施していくため、第 3 次茅ヶ崎市子ども読書活動推進計画を策定するためパブリックコメントを実施するものでございます。

案件のポイント、募集期間、素案につきましては議案書のとおりでございます。

今後、パブリックコメントを経まして、4 月 23 日日曜日の子どもの読書の日をめぐりに公表

していきたいと考えています。

説明は以上でございます。

○竹内教育長 説明が終わりました。ご意見、ご質問等がございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

特にご意見等がなければ、日程第2 教委議案第2号第3次茅ヶ崎市子ども読書活動推進計画のパブリックコメント実施については原案のとおり決定することでいかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○竹内教育長 それでは、原案のとおり決めます。

次に、日程第3 教委報告第1号令和4年度全国学力・学習状況調査結果及び分析についてを議題といたします。

担当事務局、説明をお願いいたします。

○学校教育指導課長 日程第3 教委報告第1号令和4年度全国学力・学習状況調査結果及び分析についてにつきまして、学校教育指導課長よりご説明申し上げます。

資料43ページの「はじめに」をご覧ください。本結果及び分析は、調査結果から各学校が児童・生徒の学習及び生活の実態を把握し、教育課程や学習指導の充実・改善、児童・生徒の意欲的な学習態度の育成につなげていくことができるよう、毎年、各小・中学校に指標として提示しているものでございます。

44ページをご覧ください。全国学力・学習状況調査は例年悉皆調査として行われ、令和4年度につきましても全小・中学校で調査を実施いたしました。実施日は令和4年4月19日で、調査対象は小学校6年生、中学校3年生で、併せて学校を対象としたアンケート調査も行っております。

児童・生徒対象の調査内容は、教科に関する調査及び学習意欲や学習方法、生活等に関する質問紙調査でございます。教科に関する調査につきましては、本年度は国語、算数・数学、理科の3教科の調査を行いました。

45ページをご覧ください。各学校における今後の適切な学習指導や授業改善に生かすための参考資料として、本市全体の教科別平均正答率を掲載しております。46ページから64ページには教科に関する調査結果の分析概要を示し、その中で全国との差が大きかったもの等を特に課題が見られた問題として取り上げ、学習指導に当たっての留意点を示しました。

65ページから76ページには、児童生徒質問紙・学校質問紙調査の結果について、大きく5項目に分けて学習状況の結果等とのクロス集計を行い分析しております。

そして、77ページから80ページには、本調査結果を踏まえた家庭、学校、教育委員会それぞれの今後の取組についてポイントを示しております。教育委員会といたしましては、教員のたゆまない授業改善の下、学校で過ごす時間の大半を占める授業時間における児童・生徒の意欲を高められるよう、今回の調査結果を生かした各学校の教育活動への取組を支援してまいります。

なお、本調査結果につきましては、今後、市のホームページや小・中学校を通じて公表していく予定です。

説明は以上でございます。ご確認のほどよろしくお願いいたします。

○竹内教育長 説明が終わりました。ご意見、ご質問等がございましたらお願いいたします。

○伊藤委員 これだけの集計をするのは本当に大変だったと思うところです。その辺のことについて何かあればお願いしたいのが一つ。

もう一つは71ページのところで、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況の一つとして「PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか」という中で、非常に高い数字が出ているかと思うんですけども、この点についても何かコメントなり、解説なりがあればお願いしたいと思います。

○学校教育指導課長 まず1点目でございますが、本調査は、大切なのは、結果ではなく、結果をどう学校現場での教育実践につなげていくかということになりますので、子どもたちの学習状況等についての把握、分析から、教育委員会としての教育施策の成果と課題の検証、改善を一層進めていく必要があると思います。そういった意味で、例えば負担は非常に大きいものではあるものの、外部に委託するなど比べ指導主事等が担当することで、より現状やこれまでの経過等を踏まえた実効的な分析、提言につながると考えております。

2点目ですが、71ページの箇所になります。今年度の調査で特に顕著に現れた結果として、このページのICT機器の使用頻度について、小・中学校ともに全国を上回り、特に中学校においては「ほぼ毎日」と「週3回以上」で全国の3倍以上となっております。ただし、一方、月1回未満に注目すると、全国が28.7%に比べ3.8%となっております。これは、授業での交流場面など、教育委員会として最も効果的なタブレット活用場面の一つ

として研修や学校訪問等で推奨してきたことが、現在、各学校の実践につながっていると捉えております。しかしながら、逆に3.8%が月に1回未満にとどまっていることにも着目しながら、GIGAスクール構想の前進に向けた当たり前のツールとしての活用が全ての教員ができることをさらに目指していく必要があるというふうに分析しております。

○赤坂委員 学校教育指導課にお願いがあります。69ページの上の「(褒めるなど)取組をどの程度行いましたか」ということに関してなんです、全国の小学校は59%の先生が「よく行った」というのに、茅ヶ崎市の小学校の先生は42.1%、私はこれは低過ぎると思います。「どちらかと言えば、行った」では不十分である。やっぱり教えて褒めるという教育を徹底してやっていただきたいと思っております。学校教育指導課は当然先生方の指導をしっかり行っておられますが、よりこのこと、褒める教育を広めていただきますよう、先生方のご指導をよろしくお願いいたします。

○大森委員 今ご回答いただいたことへの感想なんでございますけれども、私も教育委員として各学校を訪問させていただいているときに、今日のようなお話を伺ったことで、より学校の生活を身近に感じることができます。もちろんまだまだ課題として残っていることもあるとは思いますが、こうして共有させていただいて児童・生徒さんのためにという気持ちを私自身も持ちたいと思ったり、そこではっきり持って帰ってきております。学校の地域性、それぞれの地域によって取組方も違うということを十分承知しました。その承知の中には、今ご回答いただいたことがきっちりとはめ込まれているので、より私も参加しやすいという感想を持ちました。ありがとうございます。

○中馬委員 感想を申し上げます。73ページ、「授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか」という学校側の答えで、中学校が100%近くあるので、100%の回答はこういのでなかなか出ないと思うんですが、そこにびっくりしたのと、あと、その影響のかなというのが、全国と比べても、比べるものではないのは分かっていますが、同じか、それ以上の学力の結果が出ている中学校の状況というのがあるので、そういうところが影響が少しでもあるのではないかなというのは数字で確認することができて、とても分かりやすいと思えました。数字が全てではないということはずごく分かっているんですが、保護者としては分かりやすい結果が出ているのだなと。小学校からと比べると、やはりよく落ち着きが出てきたのだなというのが分かりやすいというのが、預けていて安心と感じました。

○竹内教育長 ほかにご意見等がなければ、日程第3 教委報告第1号令和4年度全国学

力・学習状況調査結果及び分析についての報告を終了いたします。

次に、日程第4 事務報告、令和4年第4回市議会定例会についてを議題といたします。

担当事務局、説明をお願いいたします。

○教育総務部長 日程第4 事務報告、令和4年第4回市議会定例会について、教育総務部長よりご説明をいたします。議案書82、83ページをご覧ください。

同定例会は、11月29日から12月21日までの会期23日間で開催されました。

まず、議案につきましてご説明いたします。議案書は83ページから85ページとなります。11月29日及び12月2日並びに12月20日に文化教育常任委員会が開催され、議案審査が行われました。11月29日につきましては、議案第79号令和4年度茅ヶ崎市一般会計補正予算（第10号）について審査され、30日の本会議にて可決されました。内容は、白浜町青少年広場の返還に伴う現状復帰のための工事請負費の補正及び繰越明許となっています。

12月2日につきましては、議案第80号令和4年度茅ヶ崎市一般会計補正予算（第11号）が審査され、15日の本会議にて可決されました。内容は、小・中学校費について、原油価格高騰に伴う光熱水費の増額と新型コロナウイルス感染症に係る非対面、非接触の連絡機会の増加に伴う通信運搬費、GIGAスクール構想推進に係る大型モニター購入の備品購入費、委託料の増加について、学校給食費におきましては、給食調理場における燃料費、光熱水費、また、中学校給食の実施に向け、配膳室整備に係る設計委託料を増額するものでございました。

最後に、20日につきましては、議案第105号令和4年度茅ヶ崎市一般会計補正予算（第12号）が審査され、21日の本会議にて可決されました。内容は、小学校費において、児童数の増加に伴う机、椅子、給食用配膳室、GIGAスクール関連の備品購入費と、中学校費におきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、生徒の健康管理に必要な消耗品等を増額するものでございました。また、総務常任委員会の議案第110号動産の取得についてにつきましては、小・中学校の可搬式インターホンの財産の取得について所管課より提案がなされました。そして同じく20日には、議案第109号教育委員会委員の任命についてといたしまして、赤坂雅裕氏の任命について議会より同意を得られました。

議案に関しては以上のとおりでございます。

なお、今回の市議会定例会におきまして、教育委員会関連の請願、陳情の審査はございませんでした。

次に、一般質問でいただきました質問についてご説明をいたします。議案書は85ページの中ほどから111ページまでとなります。

今回の市議会定例会につきましては、20人の議員が一般質問を行い、そのうち12人の議員より教育委員会に対して質問がありました。一般質問1日目は、公明ちがさき、菊池議員、プレコンセプションケア（将来の妊娠を考えての、健康管理の周知、啓発等）について、同じく滝口議員より、中学校給食についての質問がありました。

一般質問2日目は、絆・新しい風、木山議員より、2020年茅ヶ崎市長選挙の投票率を受けて、新型コロナウイルス感染症対策について、ちがさき自民クラブ、岡崎議員より、公共施設整備・再編計画について、新政ちがさき、新倉議員より、感染症対策について質問がありました。

一般質問3日目は、日本共産党茅ヶ崎市議会議員団、中野議員より、多くの人に親しまれる博物館及び歴史文化エリアの創造について、ちがさき自民クラブ、広瀬議員より、子ども子育ての政策について、学校教育について、新政ちがさき、早川議員より、学校給食について、未来創生・湘風クラブ、柁木議員より、茅ヶ崎市発の海洋汚染軽減への取組について質問がありました。

一般質問4日目は、日本共産党茅ヶ崎市議会議員団、金田議員より、教職員の働き方改革について質問がありました。

一般質問5日目の最終日、ちがさき立憲クラブ、藤本議員より、GIGAスクール端末について、公明ちがさき阿部議員より、安心して登下校するために必要な通学路の安全施策について質問がありました。

それぞれの質問に対する答弁は、議案書のとおりでございます。

以上で令和4年第4回市議会定例会のご報告を終わります。

○竹内教育長 説明が終わりました。ご意見、ご質問等がございましたらお願いいたします。

○伊藤委員 一般質問なんですけれども、例えば黙食に関する質問に対する教育長の回答などを見ますと、子どもを守っていこう、児童・生徒を守っていこうという姿勢がとてもよく感じ取れる答弁だったなと思うところです。また、働き方改革のところでも、教員の働き方ということで、「指導力の向上や授業研究を深めるだけでなく、日々の生活や休息の機会等を重視させることで」ということで、教員を守ろうという姿勢が見られていると同時に、教育総務部長の106ページの下から3行目の答えにあるように、「学校全体の課

業時間に大きな変更が無いように」ということで、いたずらに授業時間を削ったりせず、答えの中に教育を守ろうという姿勢が見られるなど思ったところです。この一般質問の回答を、教育長をはじめとして教育総務部長などが答弁されているわけですが、やはり茅ヶ崎の教育を守ろう、進めていこうということが強く感じられる答弁だったなと思いました。

○大森委員 私も105ページ、106ページの教育長、教育総務部長のご答弁を拝見させていただいて、その内容を私自身も共有させていただきました。先生方の働き方を改革していこう、心身の健康を守るということは、生徒たちの教育にもつながるんだろうということも感じることができました。ただ、一言感想を申し上げますと、どうしても限られた時間の中で行う教育業務の負の面だけがクローズアップされてしまいがちではないかな、時間がない、大変だ、苦しい、自分はいまうまくいかない。そういうことがクローズアップされがちだと思います。それも確かなことだと思いますが、私は、教師を目指した先生方が、児童・生徒たちの自己肯定感を育てようとしている中で、ご自分も育っていく。その中で喜びを感じていらっしゃると思いますので、教師としての仕事の魅力に光が当たるような形で、ぜひサポートしていただければよりよい教育につながるのではないかと思います。

○竹内教育長 他にいかがでしょうか。よろしいですか。

ほかにご意見等がなければ、日程第4 事務報告、令和4年第4回市議会定例会についてを終了いたします。

ここで皆様にお諮りいたします。これ以降の議題は教育委員会感謝状贈呈等に関する案件でございますので、その性質上、非公開といたしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○竹内教育長 異議なしと認め、非公開といたします。

午後3時26分閉会

○竹内教育長 それでは、日程第5に入る前に事務連絡をお願いいたします。

[事務連絡]

ここに会議の顛末を記載し、その相違ないことを証するため、次により署名します。

令和5年1月19日

教育長

委員

委員

委員

委員